

高野山

- 1936年05月24日 (太陽暦6月27日) 政宗公、享年70歳(満68歳9ヶ月)江戸桜田屋敷で亡くなる。
- 1936年06月23日 北山 現・太願寺 所在する原野にて葬儀が催される。
- 1637年05月09日 石母田大膳、津田近江、奥山大学より、貞山(政宗)公一周忌御法事次第について、茂庭周防、古内主膳まで伺ひ奉る。
- 1637年05月18日 忠宗公 江戸御発駕。
- 1637年05月22日 松島瑞巖寺に於て、貞山(政宗)公一周忌御法事今日より始まる。御名代伊達安房成実。
これより前(18日説あり)、御名代として中嶋監物意成を紀州高野山へ差登去れ、貞山公の石塔を安置し、一周忌中三味の法事を修世羅瑠。
- 1637年05月24日 御法事終わる。
- 1637年05月25日 忠宗公 仙臺城御着。
- 1637年10月24日 御霊屋・瑞鳳殿は、1年4ヶ月で完成する。

以上太字記事は 治家記録による。

紀州高野山とは、現在の和歌山県伊都郡高野町高野で、816年5月 弘法大師が開創された「真言密教」の聖地です。総本山金剛峯寺の奥の院が弘法大師廟です。この奥の院に至る2kmに江戸時代有力外様大名が供養墓を建立し、町民から現在の企業まで含め十萬の供養墓が存すると云われています。

瑞鳳殿の参拝者から 暫し 「高野山に伊達政宗公の墓所があった。分骨したのか」と問われました。「分骨はしていません」と回答したものの、現在 高野山の状況はどうなっているか、確認しないでは、ガイドとしては勉強不足の誇りを受けます。2007年4月9日午前5時 確認に訪れました。現存し、供花もされていました。

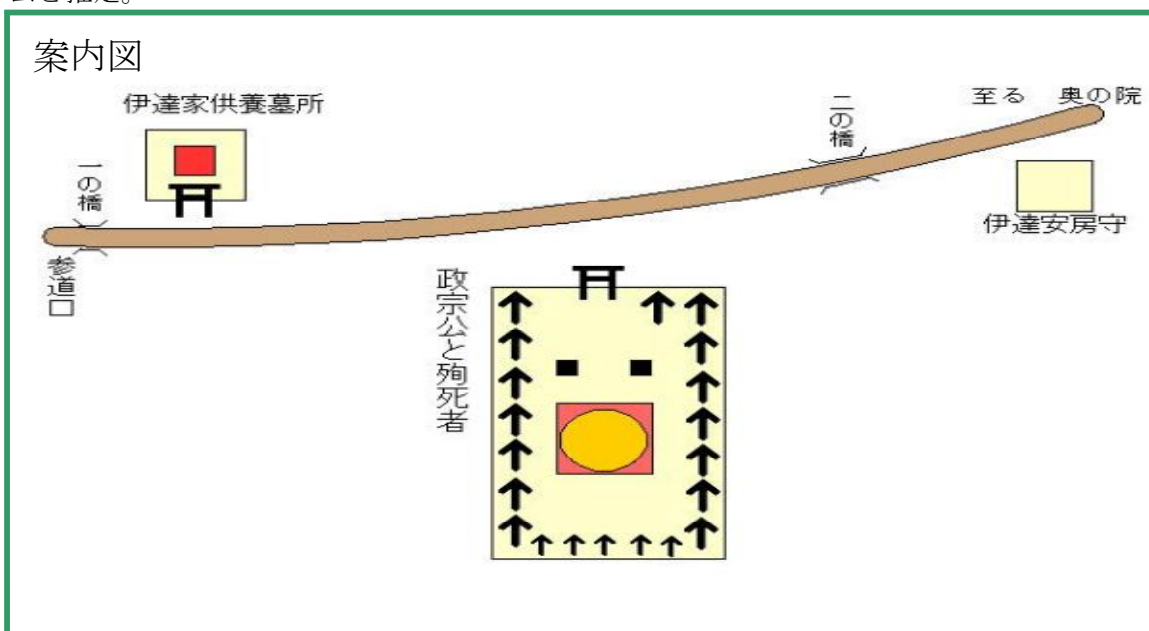
政宗公の墓所は、参道から約500m 更に約15m 奥まった個所に 間口約5m 奥行約10mに 石柱で囲まれた長方形で、正面に石造りの鳥居 入って 高さ約5mを越す 巨大な五輪塔。その面前に約2mの石灯籠。左右に約1.8mの石標8本と7本 真後ろに 約1.5mの石標5本。直臣と陪臣の身分差は歴然としています。各墓標には、供花の痕跡(プラ製濃緑の花筒)がありました。

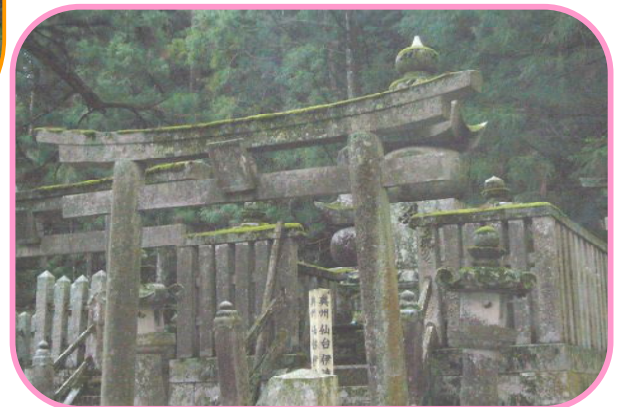
参道入り口から50mの個所に 伊達家墓所がありました。下部に銘が刻まれていました。藤原朝臣綱村と判読しました。

鬱蒼たる杉森にある為か 何れの墓標も苔蒸しており、清掃用具・片栗粉を持参せず、壁面判読困難でした。

現地販売の資料によれば、伊達安房守の墓標があるとありましたが、確認出来ませんでした。

この伊達安房守とは、一周忌法要名代を務めた涌谷伊達家 宗実(ムネザネ)1611年生 1639年9月20日逝去と推定。





伊達家墓所全景